

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	コミュニケーション	科 目		期 間	1学期 前半（中間試験）
中 高・学 年	中学・1年	授業時数 期間/年間	4 / 35	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

年間の到達目標	<p>(関心・意欲・態度)コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行っている。様々な工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。</p> <p>(表現) 英 語 個人的な事柄について、簡単な英語を用いて表現ができる。短い情報を正確に相手に伝えることができる。簡単な疑問文を適切に用いて、相手から情報を引き出すことができる。</p> <p>日本語 日常的な話題について、理由をわかりやすく提示しながら自分の言いたいことを表現できる。</p> <p>(理解) 英 語 既習事項については、単語単位、文単位でほぼ正確に聴き取り、理解することができる。はっきりと話される対話、メッセージなどの大切などの概要を聴き取り、理解することができる。</p> <p>日本語 日常的なことから関する話の概要・要点をほぼ正確につかむことができる。</p>
---------	---

到達目標 (含定期テスト)	<p>(関心・意欲・態度)コミュニケーションに関心をもち、元よく言語種に参加している。工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。</p> <p>(表現) 日本語 日常的な話題について、自分の言いたいことをわかりやすくまとめて、工夫して表現できる。</p> <p>(理解) 日本語 話の概要・要点をつかみ、興味をもったことについて質問することができる。クラスメートの発表の仕方・内容について、自分なりの評価をすることができる。また、他の人の発表を聞くことにより、自分の発表について客観的に評価することができる。</p>
------------------	---

月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 表現 理解 知識 理解	主な評価方法
4	オリエンテーション	どのようなことをする教科か?	授業内容に関心をもち、積極的にオリエンテーションで行う言語種に参加している。	授業態度
		「お母さん、ソックス」		
		A L Tによる英語の自己紹介		
	日本語で自己紹介してみよう	自分なりに工夫して自己紹介してみよう(準備)	クラスメートの発表に関心をもち、積極的に学ぶ姿勢をもっている。 クラスメートの「モデル自己紹介」から、発表の仕方・内容のまとめ方について学習し、次回自分の自己紹介に生かしていきたい点をつかんでいる。	授業態度 ワークシート 評価票
モデル自己紹介				
人前で話す基本を学習する				
日本語で自己紹介(本番)				
1回目で学習したことを生かして自己紹介(ビデオ撮影)	クラスメートの発表に関心をもち、積極的に聞く態度をもっている。工夫をしながら、自分なりにコミュニケーションをしようとしている。 自分なりに工夫し、大きな声で、ポイントを絞った「自己紹介」ができています。 クラスメートの発表の仕方・内容について、自分なりの評価をすることができる。また、他の人の発表を聞くことにより、自分の発表について客観的に評価することができる。	発表の様子 授業態度 評価票		
5		「自己紹介」の振り返り学習	クラスメートの発表ビデオに関心をもち、積極的に学ぶ態度をもっている。 よい自己紹介のビデオと自分の自己紹介を比較し、自分の自己紹介のよい点・改善すべき点に気づき、自分の発表の仕方・内容について客観的に評価をすることができる。	発表の様子 授業態度 ワークシート 評価票
		よかった人の「自己紹介」をビデオでみよう		
		自分の「自己紹介」をビデオでみよう		
		ビデオから学んだことのまとめ		
指導方法の工夫改善等		英語については「英語」の時間に口頭練習を徹底して行う。 「自己紹介」本番をビデオに残しておく。 1クラス20人で行っていく。		
課題・提出物等		「自己紹介」を考えてくる。		
未到達者への対応		個別指導		
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等		発表の仕方は総合的な学習などで行うプレゼンテーションなどにも生かしていく。		

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	コミュニケーション	科 目		期 間	1学期 後半（期末試験）
中 高 ・ 学 年	中学・1年	授業時数 期間/年間	8 / 35	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		<p>(関心・意欲・態度)コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動に参加している。工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。</p> <p>(表現) 英 語 基本的で簡単な表現を用いて、自分のことについて表現することができる。</p> <p>日本語 発音・発声、イントネーション、アイコンタクト、相手に伝わりやすい説明の仕方などを工夫して表現できる。</p> <p>(理解) 英 語 phonicsを理解し、文章を音読できる。ゆっくりはっきり話される、短く単純な話、指示などの概要、大切なところを聞き取ることができる。</p> <p>日本語 相手に分かりやすい正確に伝えるためのさまざまな話し方の工夫について理解するとともに、自分や友だちの話し方のよさや課題を適切に評価することができる。</p>				
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 表現 理解	主な評価方法		
5          6	スピーチの達人 目指して 日本語	はっきりと分かりやすく正しい発音	自己紹介の課題を自覚し、よりよい話し手になるという意欲をもって積極的に活動している。工夫をしながら、自分なりにコミュニケーションをしようとしている。 相手に伝わりやすい発音・発声、イントネーション、アイコンタクトに気をつけて話している。 「全体から細部へ」、「具体的に」、「比喩を使って分かりやすく」などの工夫をして、正確に相手に伝わるように説明している。 相手に分かりやすく正確に伝えるためのさまざまな話し方の工夫について理解するとともに、自分や友だちの話し方のよさや課題を評価することができる。	授業態度 活動の様子 ワークシート 評価票		
		早口言葉の例文による母音・子音の練習				
		声に表情をつける				
		いろいろな表情の「あ」				
		アイコンタクト				
	アイコンタクト・ゲーム					
	相手に正確に伝える説明の仕方					
	お絵かきゲーム					
	Pre-communication 活動 英語 JTE	Phonics・be 動詞の定着 (substitution drill) Phonics・be 動詞の定着 (substitution drill) Phonics・be 動詞の定着 (substitution drill) Phonics・be 動詞の定着 (substitution drill)			口頭で英語を話すことに興味をもち、大きな声で積極的にコミュニケーションをしようとしている。 英語のPhonicsについて理解し、文章を音読できる。	授業態度 パフォーマンス テスト 自己評価票
	対話活動 英語 ALT	IDカード・After School Color Pencils・ Music Class on Monday・School Day・ Happy Sunday			コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動に参加している。工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。 個人的なことからについて、最も基本的で簡単な表現ができる。 ゆっくりはっきり話される、短く単純な話、指示などの大切なところを聞き取ることができる。	授業態度 パフォーマンス テスト
楽しく英語で 自分を語ろう (SHOW & TELL)		Show & Tell 導入・ポイントの説明 Show & Tell 原稿づくり・練習	工夫を凝らしたShow & Tell をしようと積極的に準備している。	授業態度 自己評価票		
指導方法の工夫改善 等	1クラス20人を3グループ(1グループ6~7人)に分け、1時間に「スピーチの達人目指して」「Pre-communication活動」「対話活動」の中の2つの活動を行い、6時間でそれぞれの活動に一人4回ずつ参加する。 英語については「英語」の時間に口頭練習を徹底して行う。 家庭学習として英語の音読を定着させる。					
課題・提出物等	ワークシート・Show & Tell に用いる画用紙					
未到達者への対応	個別指導					
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等						

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	コミュニケーション	科 目		期 間	2 学期 前半（中間試験）
中 高 ・ 学 年	中学・1 年	授業時数 期間/年間	7 / 35	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		<p>(関心・意欲・態度)コミュニケーションに関心をもち、元氣よく言語活動に参加している。工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。</p> <p>(表現) 英 語 個人的な事柄について、学習した表現を用いて、絵や写真などの補助を使いながら、わかりやすく楽しい表現ができる。また、英文を暗唱して、自分なりに工夫して口頭で再生することができる。リズム・イントネーション・速さ・声の大きさ・アイコンタクトなどに気をつけて表現することができる。</p> <p>日本語 キーワードや組立ての明確なメモをもとに、相手に分かりやすくスピーチしている。</p> <p>(理解) 英 語 文章の内容を鑑賞し、自分で朗読して表現できるほどに理解している。他の人の朗読・暗唱を聞いて、自分の表現の仕方と比較しながら評価し、自分の表現を見直すことができる。</p> <p>日本語 速記・構造化など、メモの工夫について理解し、スピーチなどを聞き取り分かりやすくメモしている。</p>		
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 表現 理解	主な評価方法
7 8	楽しく英語で自分を語ろう (SHOW & TELL)	Show & Tell 発表	クラスメートの発表に関心をもち、積極的に聞く態度をもっている。工夫をしながら、自分なりに自己紹介しようとしている。 「日本語の自己紹介」、「Pre-communication 活動」、「英語活動」で学習した内容を生かしながら、絵・写真などの補助を用いて、自分のことについて楽しく工夫して表現することができる。 クラスメートの「Show & Tell」の概要を理解し、評価することができる。	発表 授業態度 評価表 自己評価票
9	聞き上手は話し上手 日本語	早く正確にメモをとる学習	注意深く聞いてメモをとることに興味をもって学習活動に取り組みうるとともに、よりよく聞くための工夫を話すことにも生かそうとしている。	授業態度 活動の様子 ワークシート 評価票
		「いらっしやいませ、ご注文は?」		
		仮名書き、略語、記号、様式の工夫	キーワードや組立ての明確なメモをもとに、相手に分かりやすくスピーチしている。	
		メモを構造化する学習	速記・構造化など、メモの工夫について理解し、スピーチなどを聞き取り分かりやすくメモしている。	
		「すっきりメモ名人」(樹形図メモ)		
	キーワード、レベル分け、ナンバリング			
	構造化したメモを基にスピーチする学習			
	「すっきりメモ名人 part2」			
	樹形図メモによるベアスピーチ			
	分かりやすい伝言メッセージに関する学習			
「オレオレ体育大会」(留守番電話のメッセージ)				
内容の整理、話す順序				
名俳優への道 英語 (JTE)	導入・課題文の提示	積極的に大きな声を出して、言語活動に参加し、工夫をしながら、自分なりにコミュニケーションをしようとしている。	発表 授業態度 評価票 自己評価票	
	Model Reading - Retention	理解した内容を、自分なりに工夫して表現している。だんだん Chunk を長くしてい きながら、英文を口頭で再生することができる。リズム・イントネーション・速さ・声の大きさなどに気をつけて表現している。		
	Sight Translation	クラスメートのRecitation を聞いて、発表の仕方・内容について、自分なりの評価をすることができる。また、他人の発表を聞くことにより、自分の朗読について客観的に評価することができる。		
名俳優への道 英語 (ALT)	Speed Reading コンテスト			
	Introduction New words pronunciation	積極的に大きな声を出して、言語活動に参加し、工夫をしながら、自分なりにコミュニケーションをしようとしている。		
	Model Reading - Retention (Page 1)	理解した内容を、自分なりに工夫して表現している。だんだん Chunk を長くしてい きながら、英文を口頭で再生することができる。リズム・イントネーション・速さ・声の大きさなどに気をつけて表現している。		
	Model Reading - Retention (Page 2)	クラスメートのRecitation を聞いて、発表の仕方・内容について、自分なりの評価をすることができる。また、他人の発表を聞くことにより、自分の朗読について客観的に評価することができる。		
Model Reading - Retention (Page 1, 2)				
指導方法の工夫改善等	1クラスを3グループに分け、6時間で国語と英語を4回分を学習する。 英語については「英語」の時間に口頭練習を徹底して行う。 家庭学習として英語の音読を定着させる。 校内レシテーション・コンテストを大きな目標としていく。			
課題・提出物等	発表原稿1回分 レシテーション・コンテストの課題文の暗唱			
未到達者への対応	個別指導			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	コミュニケーション	科 目		期 間	2 学期 後半（期末試験）
中 高 ・ 学 年	中学・1 年	授業時数 期間/年間	6 / 35	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		(関心・意欲・態度) コミュニケーションに関心をもち、元気に言語活動に参加している。工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。 (表現) 英語 個人的なことからについて、基本的で簡単な質問や応答ができる。 日本語 能動的に聞くためのスキルを活用して、話し手の話を促したり、自分に必要な情報を話し手から引き出したりしている。 (理解) 英語 身近なことからについてゆっくりはっきり話される話を、正確に聴き取り、情報を整理してレポートすることができる。 日本語 コミュニケーションにおける聞き手の役割とスキルを理解している。		
標準テスト等の目標				
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 表現 理解	主な評価方法
10	聞き上手は話し上手 part2 日本語	話し手を応援し一緒に話を盛り上げる聞き方	聞き手の役割に興味をもち、工夫をしながら能動的に聞き、コミュニケーションをしようとしている。 うなずき・拍手・確認・同意・質問など、能動的に聞くためのスキルを活用して、話し手の話を促したり、自分に必要な情報を話し手から引き出したりしている。 コミュニケーションにおける聞き手の役割と、うなずき・拍手・確認・同意・質問など、能動的に聞くためのスキルを理解している。	授業態度 活動の様子 ワークシート 評価票
11		「さて、今日ご紹介する商品は...」		
		TV通販販売のシナリオづくり		
		話し手を応援し一緒に話を盛り上げる聞き方		
		シナリオに基づく実演		
		相手から情報を引き出す質問の仕方 「わたしは誰？」		
		相手の言いたいことを引き出す質問の仕方 「プチ・インタビューをしよう」		
	Pre-communication 活動(JTE)	"I have a question" Quick Response Quick Response まとめ	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行っている。 学習した疑問文を正確に使い、身近なことからについて質問することができる。 簡単な質問を理解し、正確に応答することができる。	授業態度 パフォーマンス テスト 自己評価票
	Pre-communication 活動(ALT)	"I have a question" "Look for your roommate" "I'm a detective" Performance Test	様々な工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。 学習した疑問文の表現を適切に使って情報を集め、報告することができる。 簡単な質問を理解し、情報を適切に伝えるよう努力することができる。	授業態度 パフォーマンス テスト
指導方法の工夫改善等		1クラス20人を3グループ(1グループ6~7人)に分け、1時間に「聞き上手は話し上手 part2」「Pre-communication 活動」「対話活動」の中の2つの活動を行い、6時間でそれぞれの活動に一人4回ずつ参加する。 英語については「英語」の時間に口頭練習を徹底して行う。		
課題・提出物等		ワークシート		
未到達者への対応		個別指導		
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動等との関連等				

福山中・高等学校 中高一貫シラバス（期間指導項目・評価）

教 科	コミュニケーション	科 目		期 間	3 学期（期末試験）
中 高 ・ 学 年	中学・1 年	授業時数 期間 / 年間	10 / 35	副 教 材 1	
副 教 材 2		副 教 材 3		副 教 材 4	

到達度目標 (含定期テスト)		<p>(関心・意欲・態度) コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行っている。様々な工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。</p> <p>(表現) 英 語 英語電話をかけて、情報を伝える、道案内をする、位置を教える、自分の病気の症状を伝える、などの身近な話題について自分のしたいことを表現することができる。</p> <p>日本語 自分の意外な一面をアピールするスピーチの内容をつくるために積極的にインタビューし合ったり、中心点や内容のまとまりを考えて相手意識をもったスピーチをしたりすることができる。相手意識をもって、聞き取ったスピーチの内容を効果的に分かりやすく記事にまとめることができる。</p> <p>(理解) 英 語 はっきり話される、短く単純な対話、メッセージ、指示などの大切なところを聞き取ることができる。</p> <p>日本語 効果的なスピーチや記事の書き方について理解するとともに、お互いの活動のよさを評価し合うことができる。</p>		
月	単元・題材	主たる指導項目	主な評価規準 関心・意欲・態度 表現 理解	主な評価方法
1	Pre-communication	Talking On The Phone 1 Talking On The Phone 2	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動をおこなっている。 電話をかけたり、受けたりする際の表現を使うことができる。 電話で伝言を残したり、伝言を受け取ることができる。	
2 3	Let's travel around the World 英語	Directions	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行っている。様々な工夫をしながら、コミュニケーションを続けようとしている。	発表 授業態度 評価 自己評価
		You can take the subway	英語電話をかけて、情報を伝える、道案内をする、位置を教える、自分の病気の症状を伝える、などの表現ができる。	
		I have a cold	(英語) 電話、病院、道案内などの説明を聞いて必要な情報の大切なところを聞き取ることができる。	
		Let's travel around the world	これまで日本語シリーズで学習してきたスキルを生かして、工夫しながらスピーチしたり、聞き取ったスピーチの内容を分かりやすい記事にまとめたりしようとしている。	
	電撃、記者会見! 日本語	聞き手のニーズは何?	自分の意外な一面をアピールするスピーチの内容をつくるために積極的にインタビューし合ったり、中心点や内容のまとまりを考えて相手意識をもったスピーチをしたりしている。	授業態度 スピーチの様子 ワークシート 記事 評価
		スピーチマップ、ブチ・インタビュー	相手意識をもって、聞き取ったスピーチの内容を効果的に分かりやすく記事にまとめている。	
		特ダネは、いただき	効果的なスピーチや記事の書き方について理解するとともに、お互いの活動のよさを評価し合っている。	
		電撃スピーチ、記事の執筆		
		特ダネは、いただき		
		電撃スピーチ、記事の執筆		
学習のまとめ				
	単元及び日本語シリーズのふり返り			
指導方法の工夫改善等	1クラスを5グループに分け、日本語シリーズ(10人×2)は50分×4回、英語シリーズ(6~7人×3)は25分で活動を行う。 英語については「英語」の時間に口頭練習を徹底して行う。 必ず課題をやってくることを習慣づけていく。			
課題・提出物等	ワークシート、記者会見記事			
未到達者への対応	個別指導			
総合的な学習の時間、道徳(教育)、特別活動との関連等				